

日 時：平成 25 年 5 月 21 日(火) 18:00~19:30

場 所：建築士会 会議室

出席者：(委 員 長) 金子 修司

(副委員長) 長田 喜樹

(委 員) 石井 明、加藤 高明、菊嶋 秀生

(担当常任理事) 村島 正章

(事 務 局) 佐川事務局長 田中職員

欠席者：(委 員) 芝 京子、山根 三郎、山成 芳直、長谷川 行彦、福井 通、高橋 聰、

毛塚 尚男、加藤 清、永井 香織

<確認事項>

1 前回(4/16)議事録の確認【資料 1】

○開催日時の訂正(誤:4 月 19 日⇒正:4 月 16 日)がされた後、異議なく承認されました(前回同様、メールリストで事前送付済み)。

<協議事項>

1 平成 25・26 年度総務企画委員会の委員構成について【資料 2】

2 平成 25・26 年度総務企画委員会の担当常任理事候補者について【資料なし】

《副委員長より報告》

・会長の意向を踏まえ、退任の意思表示をされた高橋委員以外は留任いただくものとして資料を作成しました。

《委員長より補足》

・平成 21・22 年度の委員会構成は、当時の藤田会長(現顧問)の意向を基に支部及び業態別を考慮した上で委嘱されたとのこと。前回(平成 23・24 年度)は、常任理事、委員長及び副委員長で話し合っ、6 月下旬に決定しました。

《事務局より補足》

・5 月 1 日に開催された正副会長・常任理事会で、会長より長田副委員長及び大川常任理事を本会の次期副会長としたい旨の発言がありました。また、長田次期副会長には総務委員会を、大川次期副会長には女性委員会をそれぞれ担当していただきたいとの発言もありました。この会長の意向を汲んで、委員の選任をお願いしたいと思います。

また、委員会の担当常任理事の選任については、会長一任となっていますが、会長の意向で委員会の希望を会長へ申出ることになりました。

《副委員長より》

・若手会員及び女性会員の意見を反映させるために本委員会に入っていたか、もしくは若手会員及び女性会員の意見は聞か、委員会運営については本会の実情を理解している会員で組むかのどちらかになると思いますが、会長と相談します。

[質疑応答]

問:長田副委員長が副会長となると、委員会内での立場はどのようになるのですか。

答:総務企画委員会の担当副会長となります。なお、他の委員会で副会長が一委員としてアクティブに活動している例もあります。

《担当常任理事より》

・実際に活動している方を担当常任理事とした方が良いので、委員長を担当常任理事としたいというのが会長の意向です。しかし、本委員会は他の委員会を総括するものですので、会計に関する知識も必要であるため、行政 OB の方がふさわしいと思われます。そこで、退任される高橋委員の後任として(所属支部も同じであるので)私が委員となることもあるかと思えます。なお、委員長は引き続き金子委員長にお願いしたと思えます。

女性委員について、前回の委員構成の際に永井委員を推薦いたしましたが、住まい及び勤務先がともに県外であり、また連合会の女性委員長をされていますので、大変お忙しいとのこと。あくまで本人の意向次第ですが、お忙しいようであれば、無理にお願いするのはよくないと感じています。

《事務局長より》

・永井委員については、連合会の高齢者住宅TFにも在籍しています。同じく連合会の国際委員長をされている櫻井委員と併せて連合会とのパイプ役になっていただきたいということが会長の意向です。

《副委員長より》

・連合会の委員長ですので、単位士会では委員会の所属をなしとするか、とりあえず籍だけ置いていただくかですが、後者であれば総務企画委員会がベストだと思えます。

[質疑応答]

問:本委員会の委員数は15名程度ですか。

答:基本的にはそのように考えています。

《事務局長より》

・青年委員会及び女性委員会は既に委員長が交代しました。

《委員長より》

・総務企画委員会の今後の役割について、次回の委員会で議論する必要があります。

《委員より》

・本委員会は本会の要ですので、いろいろな情報が入ってくる必要があります。例えば、委員会及び支部でそれなりの立場にある方を1名ずつ選出する等の決まりがあってもよいと思えます。また、出身の業種を代表して参加するといったバックボーン意識がないと、個人的な意見に終わってしまう恐れがあります。

《事務局長より》

・青年委員会及び女性委員会は各支部へ委員の推薦を求めていますので、横の繋がりはあると思えます。

⇒支部長・委員長会議でもある程度情報共有されますが、予定の確認程度です。

《委員より本委員会に対する感想が述べられました》

・支部の会議と重なってしまい、欠席しがちでしたが、大変勉強になりました。内容的に、持ち帰ったものをそのまま報告することが難しいものもありましたが、その部分は支部長・委員長会議で情報を得ています。

※本日の経過を会長に伝えた上で、委員構成を行うこととなりました。

3 平成25年度(一社)神奈川県建築士会通常総会について【資料3】

《事務局長より説明》

・5月15日にHPに掲載しました。その後皆様からご意見をいただき、それを反映したものが本日の資料です。大きな変更箇所として、消費税が減少しました。

[質疑応答]

問：理事会では会員数の報告がありませんでしたが、減少率は他県と比較してどうですか。また、会員種別の変更の意味を教えてください。

答：他県と比べると減少率は低いです。会員種別の変更は、白寿会員又は黄寿会員に変わったということです。

問：総会では、ギリギリの運営で大丈夫かという質問が想定されます。併せて、対応策を総会までに総務企画委員会等で議論したかという質問も考えられますが、例えば会費増については議論していません。この点はいかがですか。

答：会長としては、すぐに会費増ということではなく、平成 25 年度の上期の状態から判断することでした。また、どうしても会費増をするのであれば、会費を減免している会員（白寿会員及び黄寿会員）の減免措置をなくす等の議論が必要とのことでした。

《担当常任理事より》

・平成 25 年度予算で、支部会計の当期収支差額が赤字となっているため、その部分を説明できるようにしておく必要があります。

＜報告事項＞

1 一級建築士試験受験申込者数について【資料 4】

《担当職員より報告》

・直近 3 年間で見ますと、概ね 1 割ずつ減少しています。

[質疑応答]

問：受験資格が厳しくなったことによる受験者数の減少も考えられますか。

答：影響があるものと考えています。

《事務局長より補足》

・参考までに、昨年一級建築士試験の合格者の分布図を見ますと、27～39 歳の層が一番多く、合格者の平均年齢は 32 歳でした。二級建築士は、24 歳以下が合格者全体の 70%以上を占めており、合格者の平均年齢は 24 歳でした。

《委員より》

・消費者にとっては、家電に家が付いてくるようなイメージになってきており、建築士の存在が分からなくなってきています。消費者への啓蒙活動が必要であると思います。

2 その他

・担当職員より第 57 回神奈川建築コンクールの実施について及びニチハ(株)主催のセミナーについて報告しました。

次回は平成 25 年 6 月 18 日(火) 午後 6 時からの開催です。